

マタイ 14

栄化に向かう 聖化の道を

マタイ福音書6章16～23節 山上の説教⑦ 天の宝・目の灯火

アウトライン

0. イントロダクション

I. 断食の姿勢 6:16～18

II. 天の宝 6:19～21

III. 聖書 6:9～15

IV. まとめと適用

栄化に向かう聖化の道を





0. イントロダクション

ガリラヤ湖

メシアによる宣教は開始された

■ マタイ福音書4:17

この時からイエスは宣教を開始し、

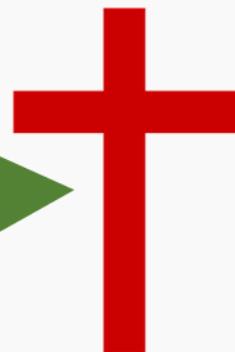
「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」

と言われた。

**イスラエルに生まれたメシアだけが、
神との平和を地上にもたらされる**

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ



最後の晩餐

エルサレム入城

最後の弟子訓練

山上の変容

ペトロの信仰告白

五千人の食事

たとえ話

ベルゼブル論争

安息日(律法解釈)論争

メシア的奇跡

宣教開始

弟子の召命

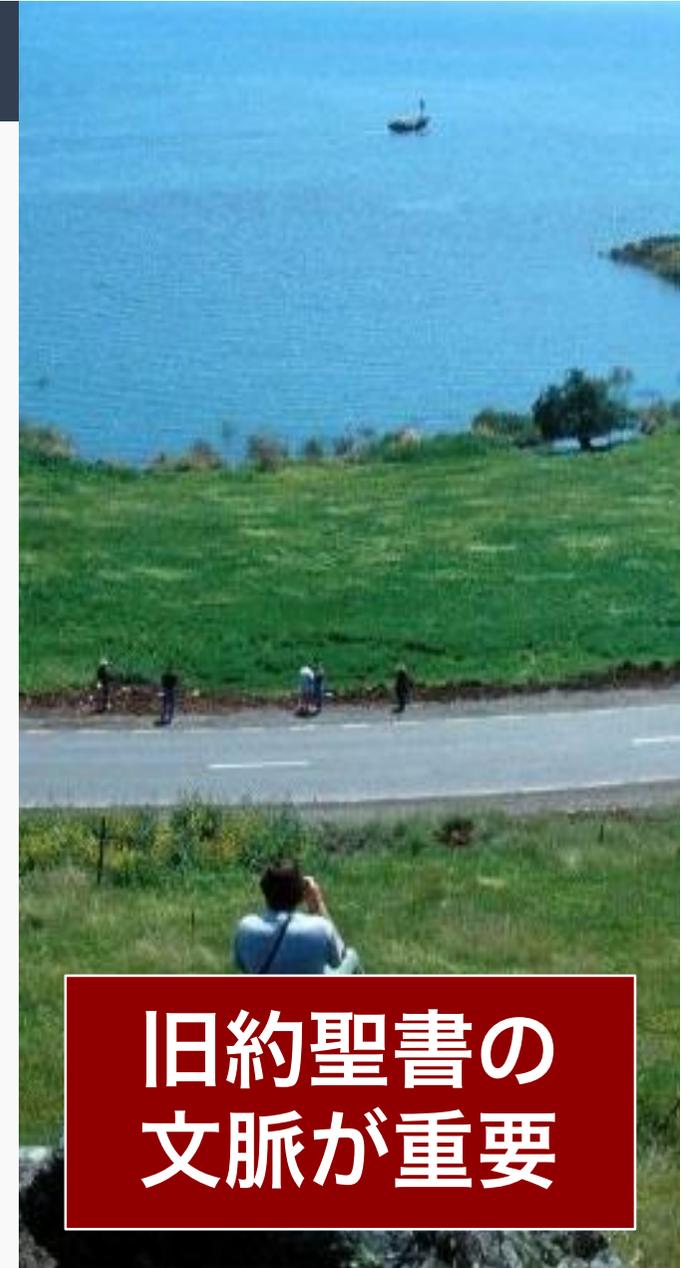
荒野の誘惑

バプテスマ



山上の説教とは？ マタイ5～7章

- ガリラヤ湖畔で語られた、イエスの**説教集**。
→ 丘の上、もしくは湖面(ルカ6章)から
- パリサイ派の「**口伝律法**」の間違いを指摘。
神の「**律法**」の真の意味と適用を教えられた。
→ 十字架以前のこの時点は、**律法の時代**
- 「山上の説教(垂訓)」とは、
→ メシアによる直々の**律法解釈!!**
→ **イスラエル**に向けて語られた



旧約聖書の
文脈が重要

メシアによる律法解釈

- 聖書預言の完全な成就として来られたメシアは、完全に完璧に、聖書全体を理解、把握されていた。
- 山上の説教は、完全な教師による、完璧な聖書の解き明かし。

聖書全体が凝縮されたメシアの解き明かしに心傾けよう



Ⅰ. 断食の態度 マタイ6章16～18節

断食 偽善者の顔 マタイ6:16

あなたがたが断食をするときには、偽善者たちのように暗い顔をしてはいけません。彼らは断食をしていることが人に見えるように*、顔をやつれさせるのです。まことに、あなたがたに言います。彼らはすでに自分の報いを受けているのです。

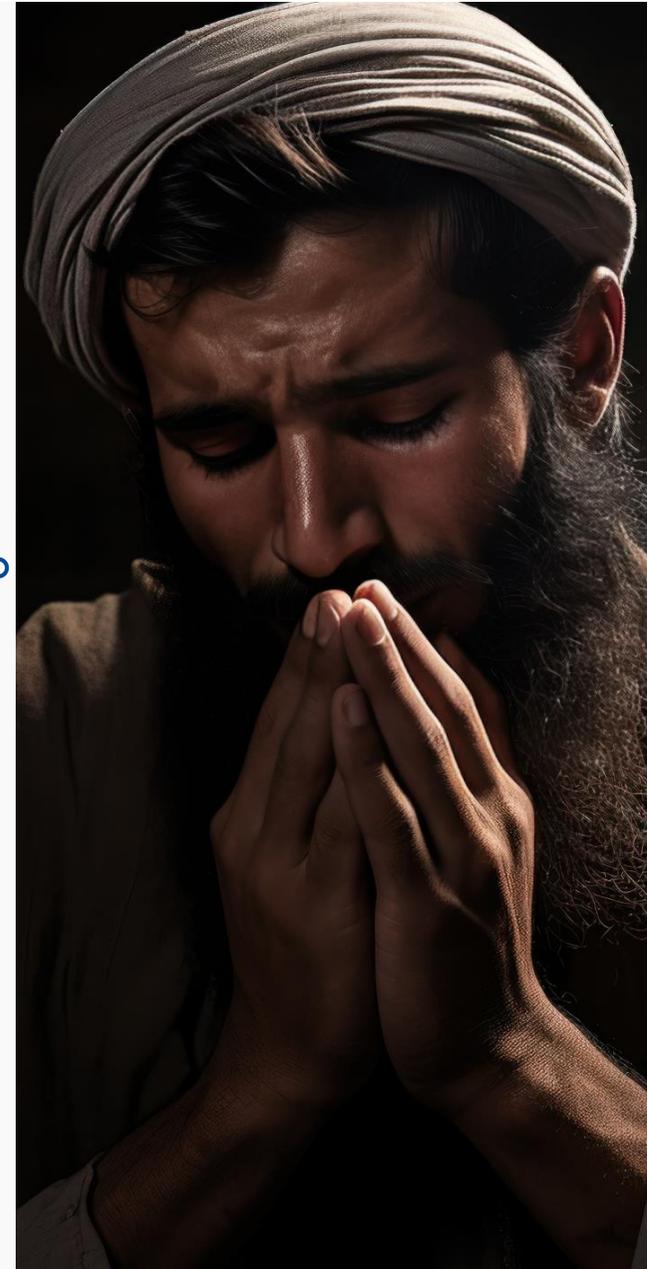
*人の賞賛、注目を得るための断食

*人からの賞賛、注目を報いとして得ている

➔ 施し(6:1)、祈り(6:2)も同様。

■人の注目を求めれば、人の注目が報いとなる。

➔ 主に向けられないものは、主には届かない。



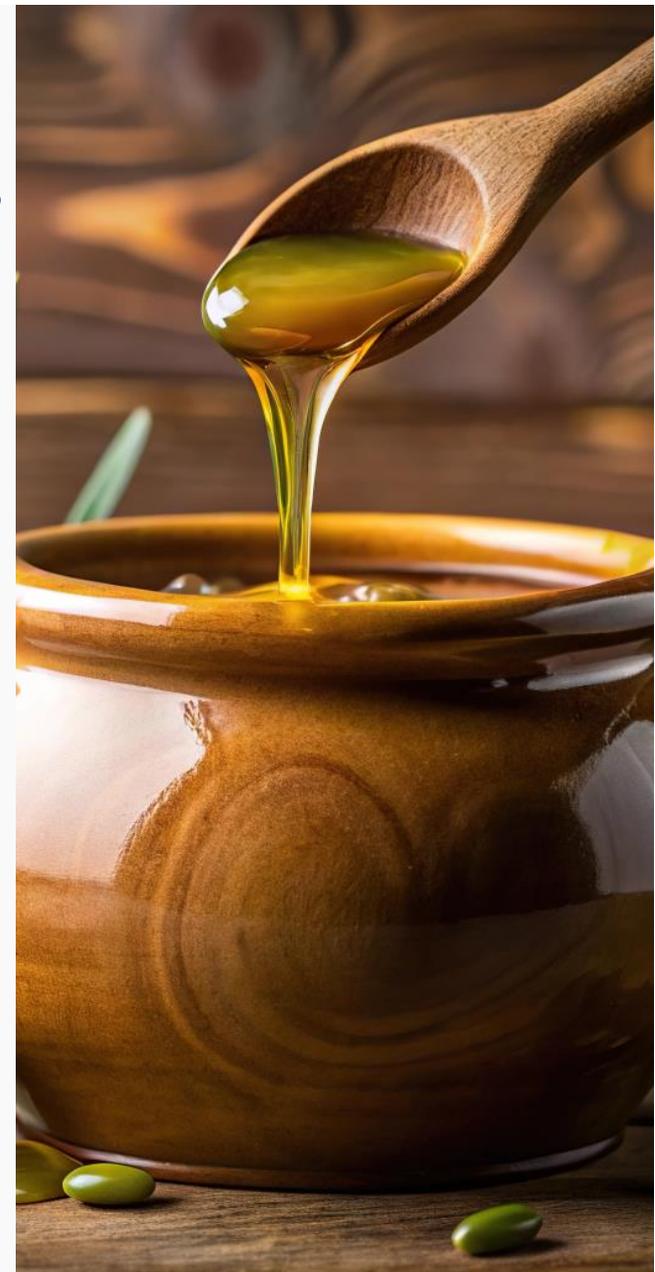
断食 主は見ておられる マタイ6:17~18

断食するときは頭に油*を塗り、顔を洗いなさい。それは、断食していることが、人にではなく、隠れたところにおられるあなたの父*に見えるようにするためです。そうすれば、隠れたところで見えておられるあなたの父が報いてくださいます。

*オリーブオイル …手入れや保湿にも重用

*民の罪ゆえ隠れられた神 イザヤ書 59:2

「あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。」



断食とは？

- ①悔い改めのしるし(士20:26, Iサム7:6他)
- ②悲しみの表現、喪に服す(IIサム1:12他)
- ③全的祈りの姿勢(IIサム12:16他)

※共通する姿勢は、神の前での「へりくだり(エズラ8:21)」

- 断食は、あくまでも【主】に向かってなすべき行為
- 食事の時間までも、すべてを【主】にささげる行為

バビロン捕囚期から続いてきた断食の伝統

■バビロン捕囚期の断食 ゼカリヤ書 7:5

「この国のすべての民と祭司たちにこう言え。

この七十年の間、あなたがたが、**第五の月***と**第七の月***に断食して嘆いたとき、本当にこのわたしのために断食したのか。」

*ティシャベ・アブ(アブの月)…神殿崩壊日

*10日がヨム・キプール(贖罪日)

■捕囚期に、神殿崩壊日も断食の日に加えられた。

→中間時代に、さらに増加。パリサイ派はしょっちゅう実施。

イスラエルの偽りの断食

■主に認められない偽りの断食 イザヤ書58:3~5

『なぜあなたは、私たちが断食したのに、ご覧にならず、自らを戒めたのに、認めてくださらないのですか。』

見よ。あなたがたは断食の日に自分の好むことをし、あなたがたの労働者をみな、追い立てる。

見よ。あなたがたが断食をするのは、争いとけんかのためであり、不当に拳で殴るためだ。あなたがたが今のように断食するのでは、いと高き所に、その声は届かない。

わたしの好む断食、人が自らを戒める日とは、このようなものだろうか。葦のように頭を垂れ、粗布と灰を敷き広げることなのか。これを、あなたがたは断食と呼び、主に喜ばれる日と呼ぶのか。

主が好まれる真の断食

■ イザヤ書58:6~7

わたしの好む**断食**とはこれではないか。悪の束縛を解き、くびきの縄目をほどき、虐げられた者たちを自由の身とし、すべてのくびきを砕くことではないか。

飢えた者にあなたのパンを分け与え、家のない貧しい人々を家に入れ、裸の人を見てこれに着せ、あなたの肉親を顧みることではないか。

■ 真実の**断食**とは、束縛された者を解放し、飢えた者に食べさせ、他者に憐れみを示すこと。➡**律法**の精神を身をもって示す

求められるのは、主への信仰を愛の行動で示すこと!!

真の断食がもたらす祝福

■ イスラエルの民族的回心・真実の断食 ヨエル2:10

地はその前で震え、天も揺れる。太陽も月も暗くなり、星もその輝きを失う。

【主】はご自分の軍隊の先頭に立って声をあげられる。その陣営は非常に大きく、主のことばを行う者は強い。【主】の日は偉大で、非常に恐ろしい。だれがこの日に耐えられるだろう。

「しかし、今でも——【主】のことば——心のすべてをもって、断食と涙と嘆きをもって、わたしのもとに帰れ。」

衣ではなく、あなたがたの心を引き裂け。あなたがたの神、【主】に立ち返れ。主は情け深く、あわれみ深い。怒るのに遅く、恵み豊かで、わざわざを思い直してくださる。

イスラエルの民族的回心・真の断食 → メシア再臨・千年王国

千年王国における断食の日

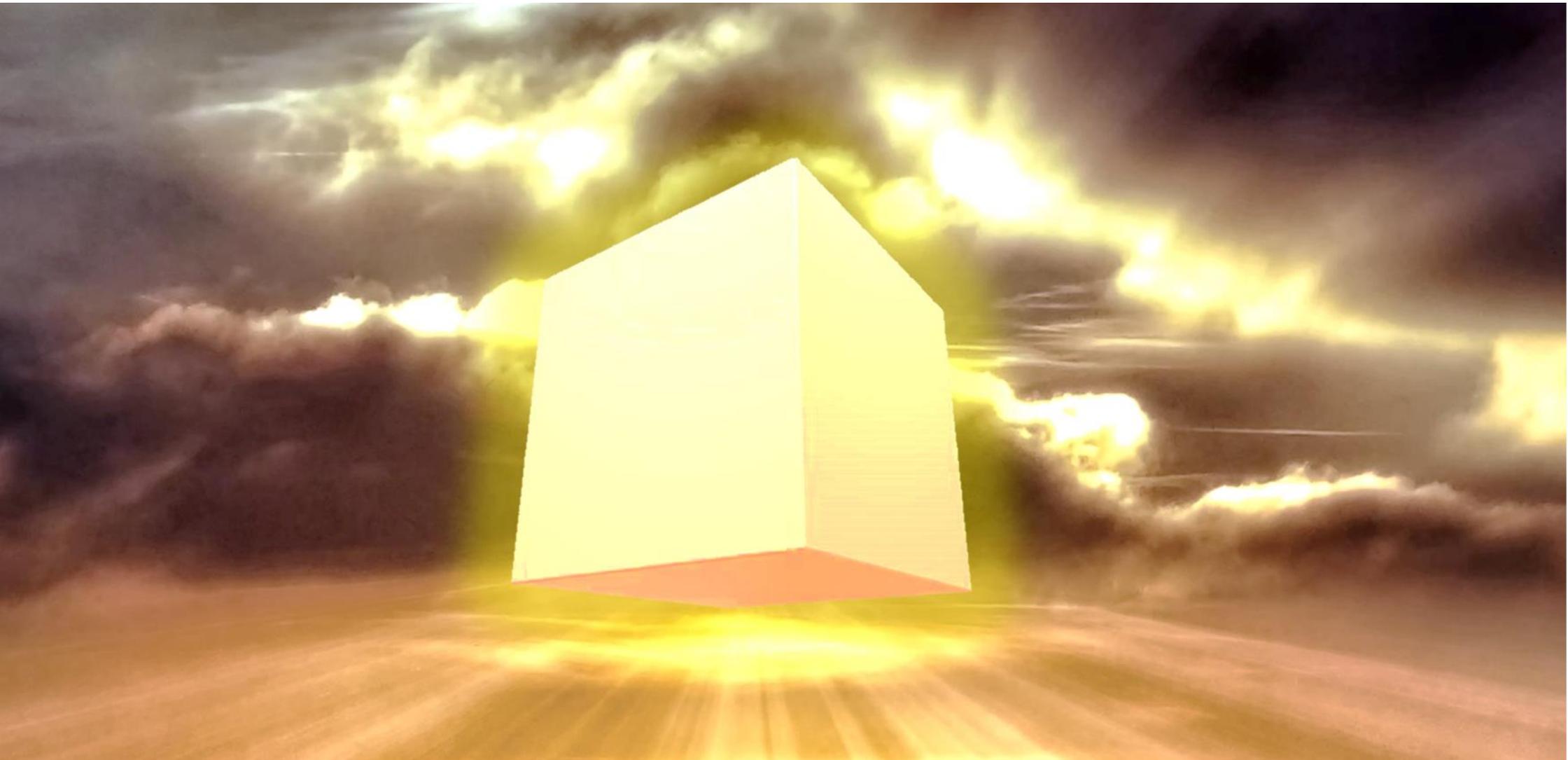
■主の日に加えられる祝福となった断食の日 ゼカ8:19

万軍の【主】はこう言われる。「第四の月の断食、第五の月の断食、第七の月の断食、第十の月の断食は、ユダの家にとって、楽しみとなり、喜びとなり、うれしい例祭となる。だから、真実と平和を愛しなさい。」

■再臨のメシアが王となられた神の王国(千年王国)では、人々は、重要な例祭の日に、心からの断食を行う。

➡律法を破った罪から、イスラエルが完全に回復

➡楽しみ、喜び、すべてをささげて主に礼拝する



II. 天の宝 マタイ6章19～21節

天の宝 天に宝を マタイ6:19～20

自分のために、地上に宝を蓄えるのはやめなさい。そこでは虫やさびで傷物になり、盗人が壁に穴を開けて盗みます。

自分のために、**天に宝を蓄えなさい**。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。

あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。

■箴言8:18 「富と誉れはわたしとともにある。朽ちない財宝も義も。」



天に宝を
蓄えるとは？

滅びにいたる不信仰者は、無意味な宝にすがりつく

■ 裁きの時代の愚かな異邦人 イザヤ書30:6

ネゲブの獣についての宣告。「苦難と苦悩の地を通り、雌獅子や雄獅子、まむしや、飛び回る燃える蛇のいるところを通り、彼らはその**財宝**をろばの背に載せ、**宝物**をらくだのこぶに載せて、役にも立たない民のところに運ぶ。」

■ 滅びを目前にしたバビロン エレミヤ書51:12~13

バビロンの城壁に向かって旗を掲げよ。見張りを強くし、番兵を立て、伏兵を備えよ。【主】は計画を練って、バビロンの住民について語ったことを実行されるからだ。

大水のほとりに住む、**財宝**に富む者よ。おまえの最期、おまえの寿命が尽きる時が来た。

神の宝の民・イスラエル

■ 律法の遵守がもたらす恵み 出エジプト記19:5

今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中にあって、わたしの**宝**となる。全世界はわたしのものであるから。

■ 神の宝の民とされたイスラエル 申命記7:6

あなたは、あなたの神、【主】の聖なる民だからである。あなたの神、【主】は地の面のあらゆる民の中からあなたを選んで、ご自分の**宝**の民とされた。

イスラエルは、神に背き、宝の民としての自分自身を貶めた

失われたイスラエルの地上の宝

■ バビロン捕囚で失われた宝 Ⅱ 歴代 36:19

神の宮は焼かれ、エルサレムの城壁は打ち壊され、その高殿はすべて火で焼かれ、その中の**宝**としていた器も一つ残らず破壊された。

■ エルサレムの宝物庫の、多くの宝や、金、銀の器は、イスラエルの罪の結果、バビロン捕囚によって徹底的に略奪(BC586)。

■ ローマの陥落(AD70)時には、火災で溶けた金まで略奪。

➔ 神殿の石も土台から崩された。

イスラエルが、地上で持っていた宝は、完全に奪われた

真実に求めるべき宝①

■主に聞き従う者の幸い 詩編 119:14

私はあなたの**さとしの道**をどんな宝よりも楽しんでいきます。

■主の知恵こそ隠された宝 箴言2:3~6

もしあなたが**悟り**に呼びかけ、**英知**に向かって声をあげ、
銀のように、これを探し、**隠された宝**のように探り出すなら、
そのとき、あなたは【主】を恐れることをわきまえ知り、
神を知ることを見出すようになる。

【主】が**知恵**を与え、御口から**知識**と**英知**が出るからだ。

主を知ること、どんな宝よりも尊い

真実に求めるべき宝②

■主を知る知識こそ宝 箴言 20:15

金があり、多くの真珠があっても、**知識の唇こそ宝**の器。

■主を恐れることが宝 イザヤ書 33:6

主はあなたの時を堅く支え、救いと知恵と知識の富となられる。

【主】を恐れることは、その財宝である。

主を恐れることこそが、宝

究極の宝

■ ついに明らかにされた究極の宝 コロサイ書2:2~3

私が苦闘しているのは、この人たちが愛のうちに結び合わされて心に励ましを受け、さらに、理解することで豊かな全き確信に達し、神の奥義*である**キリスト**を知るようになるためです。この**キリスト**のうちに、**知恵と知識の宝**がすべて隠されています。

*隠されていたこと。

■ **イエス・キリスト**の十字架の贖いの死と復活によって、隠されていた**究極の知恵と知識の宝**が明らかにされた。

主イエス・キリストを知ることが、究極の宝

再び主の宝とされるイスラエル

■主の日・大艱難 マラキ書 3:17

「彼らは、わたしのものとなる。——万軍の【主】は言われる——わたしが事を行う日に、**わたしの宝**となる。人が自分に仕える子をあわれむように、わたしは彼らをあわれむ。

■世の終わり・大艱難の最後、反キリストによる殲滅の危機に、イスラエルは民族的回心にいたり、イエスをメシアと告白。

再臨の主イエスが、イスラエルを主の宝に回復!!

信仰者が求めた真実の宝

■ モーセが求めた宝 ヘブル人への手紙11:24~26

信仰によって、モーセは成人したときに、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒み、はかない罪の楽しみにふけるよりも、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。

彼は、**キリストのゆえに受ける辱め**を、**エジプトの宝にまさる大きな富**と考えました。それは、**与えられる報い**から目を離さなかったからでした。

■ エジプトでのイスラエルの苦難は、メシアの苦難の予型。

➔ 民をとりなすモーセの苦しみは、メシアの苦しみ

己の十字架を負い、主イエスの道を歩む者は、真の宝を得る

究極の宝の都・新天新地のエルサレム

■ 黙示録21:11

都には神の栄光があった。その輝きは最高の宝石に似ていて、透き通った碧玉のようであった。

■ 黙示録21:19～20

都の城壁の土台石はあらゆる宝石で飾られていた。第一の土台石は碧玉、第二はサファイア、第三はめのう、第四はエメラルド、第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七は貴かんらん石、第八は緑柱石、第九はトパーズ、第十はひすい、第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。



Ⅲ. 目の灯火 マタイ6章22～23節

目の灯火 光か闇か マタイ6:22～23

からだの明かりは目です。ですから、あなたの目が健やかなら全身が明るくなりますが、

目が悪ければ全身が暗くなります。ですから、もしあなたのうちにある光が闇なら、その闇はどれほどでしょうか。

- 目が健やか(澄む) → 全身が明るい
- 目が悪い(濁る) → 全身が暗い
- 何より問われるのは、私たちの内側。
→ 心のありよう、霊的な状態

信仰者には、
聖霊が内住!!

主の栄光が
内から輝く!!



主への反抗がもたらす、真の暗闇

■回心前夜のサウロ 使徒22:11

私はその光の輝きのために**目が見えなくなっていた**ので、一緒にいた人たちに手を引いてもらって、ダマスコに入りました。

■魔術師バルイエスへのサウロの宣告 使徒13:11

「見よ、主の御手が今、おまえの上にある。おまえは**盲目**になって、しばらくの間、日の光を見ることができなくなる。」するとたちまち、かすみと闇が彼をおおったため、彼は手を引いてくれる人を探し回った。

主に背く者は、心も霊も、闇に覆われている

良い知らせ・福音がもたらす光

■箴言15:30

目の**光**は心を喜ばせ、良い知らせは人を健やかにする。

■主がサウロに告げられた福音宣教の使命 使徒26:18

『それは彼らの目を開いて、闇から**光**に、サタンの支配から神に立ち返らせ、こうしてわたしを信じる信仰によって、彼らが**罪の赦し**を得て、聖なるものとされた人々とともに**相続**にあずかるためである。』

福音が、心に光をもたらし、育む

主の知恵と啓示の御霊が開く、心の目

■ エペソ人への手紙1:17~19

どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。

また、あなたがたの**心の目**がはっきり見えるようになって、神の召しにより与えられる望みがどのようなものか、聖徒たちが受け継ぐものがどれほど栄光に富んだものか、また、神の大能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力が、どれほど偉大なものであるかを、知ることができるようになりますように。

ますます主を知り、さらに心の目が開かれるように!!

最も強く輝く、メシアの目

■再臨の主イエス 黙示録19:11~12

また私は、天が開かれているのを見た。すると見よ、白い馬がいた。それに乗っている方は「確かで真実な方」と呼ばれ、義をもってさばき、戦いをされる。

その目は燃える炎のようであり、その頭には多くの王冠があり、ご自分のほかはだれも知らない名が記されていた。

■大艱難の最後、栄光の主イエスが再臨される。

その名は、「神のことば、王の王、主の主」

究極の裁き主として、世界を回復し、永遠に治めるために。



IV. まとめと適用

栄化に向かう聖化の道を

6章1～23節のまとめ

- ① 施し、祈り、断食は、**主に向かって**なすべきこと。
 - ② **心を主に向けて**歩むなら、天に宝が積まれていく。
 - ③ **主に信頼して**歩む者は、内から主の栄光が輝き出る。
- 主にすべてをささげ、主に聞き従い、主に信頼して歩む者を、主が満たし、豊かに用いてくださる。

私の信仰、行いは、主から発し、主に向かっているのか？

聖霊の助けを求めて行こう

- イスラエルは、自分の力では律法を守れなかった。主イエスの命令に従う力も、私自身の内にはない。
- 主イエスが成し遂げられた十字架の贖いと復活の福音を信じた者の内に住まわれる聖霊が、導いてくださる。
- 主を慕い求め、主に聞き従い、聖霊の支配に委ねるなら、主が私を変えてくださる。証人として用いてくださる。

主を知り、主に聞き従い、主に換えられていこう

栄光から栄光へと、主の似姿に変えられていこう!!

■ 守れなかった律法が覆いとなったイスラエルに、メシアは、ご自身を示され、救いの御業を成し遂げられた。

■ 福音が覆いを取り除き、聖霊が導く Ⅱコリント3:14~18

しかし、人が主に立ち返るなら、いつでもその覆いは除かれます。主は御霊です。そして、主の御霊がおられるところには自由があります。

私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の**栄光**を映しつつ、**栄光**から**栄光**へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

すべては再臨の主イエス・キリストが完成される

■主イエスが、福音を信じた者をもとに招かれる時、私たちは、**栄光**の体を与えられる。

■主の**栄光**に満たされて、主の**栄光**を放つ者に変えられる。楽しみ、喜び、私たちはすべてを主にささげる。地上の歩みに応じた報いが、千年王国で待っている。

■最後に招かれる新天新地のエルサレムは、宝の都。主イエスが、世をあまねく照らす光であり、神殿。すべてが、主の**栄光**に満たされている。

約束された究極の宝・新天新地

■新天新地 黙示録21:4~7

神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しきもなし。以前のものが過ぎ去ったからである。」

すると、御座に座っておられる方が言われた。「見よ、わたしはすべてを新しくする。」また言われた。「書き記せ。これらのことは真実であり、信頼できる。」

また私に言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。わたしは渇く者に、いのちの水の泉からただで飲ませる。

勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

★ 栄化に向かう、聖化の道を ★

- 祈りに全力を注ぐ断食は、主に向かってささげるもの。
主に聞き従い、主を知る者は、天に永遠の宝を積む。
- 福音を信じたなら、内住される聖霊に信頼して歩もう。
主の栄光に満たされ、主の栄光が発せられていくように。
- 主に遣わされ、変えられていこう。
主が約束された栄光のゴールが、私たちを待っている。

主を知り、主に聞き従い遣わされ、天に宝を積んでいこう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わたし しゅ む いの ところ
私は、主に向かって祈り、この心をささげます。

しゅ し しゅ き したが みたま わたし み
主を知り、主に聞き従います。御霊で私を満たしてください。

えいこう えいこう しゅ に わたし か
栄光から栄光へ。主に似たものとして私を変えていってください。

かんせい とき ま のぞ しゅ しょうにん つか
完成の時に待ち望みつつ、主イエスの証人として遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」